



3歳ダート王決定戦 2023 ジャパンダートダービー 生中継 7月12日(水)より7時より放送

この度、日本BS放送株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 近藤 和行、以下「BS11」)は、7月12日(水)より7時より、3歳ダート王を決める一戦『ジャパンダートダービー(JpnI)』を今年も生中継にてお送りします。

地方・JRA共にトップクラスの3歳馬が結集する「砂のダービー」。番組を盛り上げるゲストとして、スタジオゲストに陣内孝則さん、スペシャルゲストに新木優子さんが登場。JRAの馬主である陣内さんの独自の予想と、TCKイメージキャラクターを務める新木さんのCM撮影でのエピソードにも注目です。

次代を担う“砂王”の座をつかむのはどの馬か!?白熱のレース展開に、是非ご期待ください。



※レース写真は2022年の模様

<放送日時>

7月12日(水)より7時00分～8時58分

<出演者>

MC:福原直英

解説者:細江純子(ホースコラボレーター)

市川俊吾(日刊競馬)

<スタジオゲスト> <スペシャルゲスト>

陣内孝則



新木優子



<レースの注目POINT>

羽田盃、東京ダービーと続いた南関東3歳クラシック三冠レースの最終関門『ジャパンダートダービー』。

ダート3歳戦で唯一のJpnI競走として、JRAからもトップホースが参戦する。南関東所属馬と、JRAの強豪が大井競馬場を舞台に覇を競う。過去の優勝馬には、ゴールドアリュール、カネヒキリ、サクセスブロッケン、クリソベリル(いずれもJRA)などチャンピオン級の活躍馬も多い。2021年は重賞初挑戦のキャスルトップ(船橋)が逃げ切り、南関東所属馬として6頭目の勝ち馬となった。

今年は、JRA所属馬は、5月の兵庫チャンピオンシップを6馬身差で圧勝したミトノオー、3連勝で青竜Sを制したユティタム、昨年末の全日本2歳優駿でデルマソトガケと接戦演じたオマツリオトコ、地方所属馬は、無敗の南関東三冠制覇がかかるミックファイアなどが出走予定。

来年からは10月開催の『ジャパンダートクラシック(JpnI)』に名称変更のため、今回が最後のレースとなる『ジャパンダートダービー』の歴史の最後に名前を刻むのはどの馬か?

また、10R、12Rもライブでお届けいたしますので、こちらも是非お楽しみください。

<https://www.bs11.jp/sports/dirtgrade2023/>

★11R『ジャパンダートダービー(JpnI)』→より8時10分 発走予定★



BS11は、質の高い情報を提供することで、人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します。

